

萩市立旭中学校で「森林体験学習」を実施

令和5年11月30日（木）、萩市立旭中学校2年生9名を対象に、地元林業研究グループ「旭林業振興会」が森林体験学習を行いました。

この活動は、次代の担い手である中学生を対象に、森林の働きや林業の必要性などについて、体験を通して理解を深めてもらうために行われました。

はじめに、振興会長から森林の働きや林業の仕事について話を聞き、森林組合職員から枝打ちの手本を見せてもらい、林内で枝打ちの体験をしました。生徒たちは、慣れない山の斜面に林内を歩くことも四苦八苦していましたが、徐々に斜面に慣れ、次々に枝打ちをしていました。

つぎに、間伐体験をしました。枝打ちと同様、森林組合職員から間伐の手本を見せてもらい、立候補した6人の生徒が間伐を行いました。間伐を体験した生徒は、見守っている生徒からの応援を受けて、途中でくじけそうになりながらも、最後まで1人で木を伐り倒しました。

生徒たちは、初めての体験が楽しかったようで、この体験学習を機に、身近な森林や林業に興味を持ってもらえることを期待しています。



森林の話



間伐体験